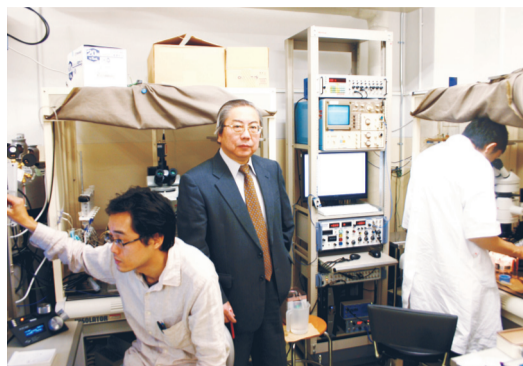


オーラルジスキネジアの発症メカニズムを探る 歯・越川 憲明教授

ガムを噛んでいるわけでもないのに、しきりに口をモグモグ動かしているお年寄りを見かけたことはないだろうか。これはオーラルジスキネジアと呼ばれる口腔領域の運動異常で、口を動かす以外にも、舌を出したり左右に揺らす、唇をすぼめるなどの動きが当人の意思や状況にかかわらず、繰り返して起こるため、食事に支障をきたすことが多い。「こうした症状は生活の質(QOL)を低下させるだけでなく、歯科



実験に取り組む学生を指導中の越川教授

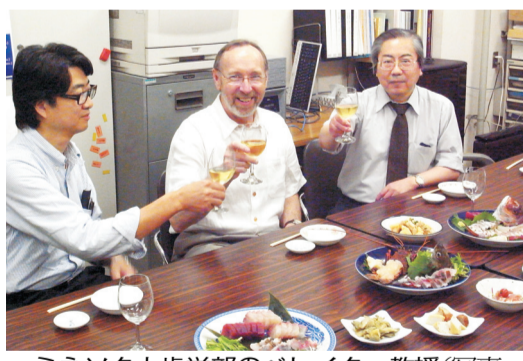
治療を受ける上でも大きな障害になります。顎が動いてしまうため入れ歯も合わず、型を取るのも難しい」と越川憲明教授。薬剤治療など、右に揺らす、唇をすぼめるなどの動きが当人の意思や状況にかかわらず、繰り返して起こるため、食事に支障をきたすことが多い。「こうした症状は生活の質(QOL)を低下させるだけでなく、歯科

多彩な研究手法を駆使 共同研究も精力的に推進 関与する新たな部位を発見

は加齢のほか、薬剤の使用によってしばしば出現する。よく知られているのは抗精神病薬ドパミンD2遮断薬の副作用で、長期投与すると約15%の確率で発症性ジスキネジアを発症する。薬で神経伝達物質のドパミンD2をブロックし続けた結果、低下したドパミン入力を補うために受容体が増加し、過剰反応を起こすと考えられている。

越川教授の研究は学術フロントティア事業「顎顔面口腔における難治性神経疾患研究の拠点形成」の一環として進められている。研究で得られた基礎データや知見を、根治的な治療法の開発につなげていく計画だ。

越川教授の研究は学術フロントティア事業「顎顔面口腔における難治性神経疾患研究の拠点形成」の一環として進められている。研究で得られた基礎データや知見を、根治的な治療法の開発につなげていく計画だ。



ミネソタ大歯学部のベレイター教授(写真中央)を囲む親睦会で(今年5月)

越川 憲明(ごしかわ) 神経化学・神経薬理学のりあき昭和50年歯学部卒、54年大学院歯学研究科修了。54年歯学部助手、59・60年ロンドン大学精神医学基礎医学会(理事)、日研所に留学。専任講師本薬理学会(評議員)な師、助教授を経て平成20年に所属。趣味・特技11年より現職。専門は料理。58歳

腸管免疫と共生菌の機能研究

生物資源科・細野 朗准教授

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が

「人の腸は不思議な腸にあることが分かってきた。栄養素を吸収することが腸の一番の働き。さらに近年、免疫機能、感染症を防ぐ、アレルギー反応を制御する」などの重要な役割が



腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

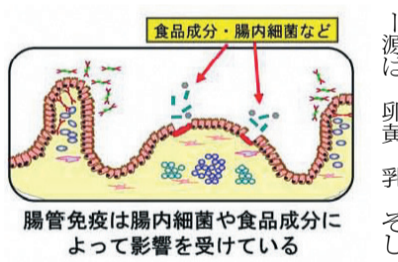
腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。腸内の細菌を解く動物実験が欠かせない。

腸内細菌は防御・制御の支援戦士 食品等による抗感染・抗アレルギー

腸内細菌は防御・制御の支援戦士。食品等による抗感染・抗アレルギー。



腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている

腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている。腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている。

腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている。腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている。

腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている。腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている。

腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている。腸管免疫は腸内細菌や食品成分によって影響を受けている。



研究室での語り合いのひととき

研究室での語り合いのひととき。研究室での語り合いのひととき。研究室での語り合いのひととき。

プロフィール

細野 朗(ほその) 講師を経て19年、現在(平成)元東北大学の食品生命学科准教授。農学部卒(食糧化学)。専門は食品科学、食品3年修士課程修了後、機能化学、免疫生化学。明治製菓生物科学研究所。12年東京大学大学院農学博士(論文)取得。同年日本大学生物資源科学部助手。専任。44歳。